

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 練習について

- (1) 練習は、多目的広場で行う。
- (2) 投てき競技の練習は、ソフトボール場で行う。
- (3) 練習は審判員の指示に従い、事故防止に十分注意すること。

## 3. 招集について

- (1) 招集所は、北ゲート外側の器具庫付近に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載されている。
- (3) 招集の方法については次の通りである。
  - (a) 競技者は招集開始時刻になったら、招集所に掲示してある出場競技者一覧表にチェック(自分の番号を○で囲む)をする。
  - (b) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、スパイクピンおよび靴底の厚さの点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバーカード標識を受け取る。
  - (c) 携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
  - (c) 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ招集所に用意した「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。
  - (d) 欠場する者は、「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻前に招集所に提出する。
  - (e) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと見なされ出場できない。
- (4) リレー種目について
  - ① 「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、各ラウンドの第1組の招集完了時刻1時間前までに(招集所)に提出すること。

## 4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、折り曲げないで、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。(4ヶ所、2点止め)  
但し、跳躍競技の競技者は、胸部又は背部のみでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの右側やや後方に付ける。フィニッシュ係員に返却すること。

## 5. 競技について

- (1) 競技者は、競技役員の誘導により入場、退場すること。
- (2) トラック競技はすべて写真判定装置を使用する。万一記録が出なかった場合には、再レースを行うことがある。
- (3) レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- (4) 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走る。
- (5) トラック競技は、すべてタイムレースとして行い、総合順位を決定します。
- (6) フィールド競技の優勝決定・順位決定は行いません。走幅跳、投てき競技の試技は、3回とします。  
(同記録は同順位とする)
- (7) フィールド競技における競技場内での練習試技は、すべて競技役員の指示に従う。
- (8) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が準備したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークルの外側に使用することができる。
- (9) 三段跳の踏切版は、砂場から男子11m、女子9mの地点に設置する。
- (10) 4人以上の場合の試技時間は1分とする。3人以下の試技時間は規則による。
- (11) 抗議はTR8に定められている時間内に、競技者自身または代理人が審判長に対して口頭で行い、裁定を聞く。  
さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え担当総務員を通じて文書で申し出る。
- (12) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (13) フィールド種目に出場している競技者が、当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画されたそれ以前の試技の映像を見ること。その録画再生機器や録画映像は録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしても良い。

## 6. 走高跳について

練習のバーの設定については、参加者の状況により審判長の判断で変更することができる。

走高跳のバーの上げ方は最後の一人になり、優勝が決まるまでは次の通りである。

	練習		バーの上げ方							
1部男子	1m50	1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以降3cm
2部男子	1m30	1m50	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降3cm
1部女子	1m25	1m40	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降3cm		
2部女子	1m15	1m30	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	1m44	以降3cm

## 7. 競技用具について

(1) 競技に使用する用器は、主催者が用意したものを使用しなければならない。

私物については、損害賠償等の問題から一切使用を認めない。

(2) 個人の練習用器は、競技場内に持ち込まないこと。

(3) スパイクピンの長さは、9mm以内とする。但し、走高跳・やり投は12mm以内とし、これらのスパイクの直径は、4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

(4) 競技用靴については、WAの新規定が適用される。800m未満20mm、800m以上25mmまでとする。

(5) 投てき競技の使用する器具は次の通りとする。

	1 部			2 部	
	一般男子	高校男子	女子	中学男子	中学女子
砲丸重量	7.260kg	6.000kg	4.000kg	5.000kg	2.721kg
円盤重量	2.000kg	1.750kg	1.000kg	1.500kg	1.000kg

## 8. 表彰について

(1) 各種目総合3位までの入賞者に賞状を授与する。表彰式は行わないので表彰係へ取りに来ること。

(2) 各種目優勝者に盾を授与します。

## 9. 一般的注意事項

(1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、大会本部救護係へ連絡する。

(2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。

(3) 大会期間中の貴重品の保管は、各自・各チームで行うこと。盗難にあっても主催者ではその責任を負わない。

(4) 記録はその都度発表しますが、別に設置する記録掲示板に印刷物で掲示します。

(5) 記録は一関市陸上競技協会ホームページに掲載する。

(6) 記録証を希望する競技者は、総合案内に100円を添えて申し込むこと。